

# 令和2年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会

## 「医療的ケア」委員会 活動報告（案）

### 1 設置の目的、役割等

「医療的ケア」委員会は、日常的に医療的ケアが必要な障がいのある人が安心して地域で生活していけるよう、関係機関が連携して支援体制を構築・確保するために必要なことについて、具体化に向けた協議を進めることを目的、役割としています。

### 2 昨年度までの経過

協議会の常設委員会として平成23年度から設置され、「介護職員等による喀痰吸引等研修」の実施や「入院時コミュニケーション支援」の制度化、「医療的ケアが必要な人の短期入所施設の拡充」について協議してきました。

平成30年度から、京都府の「医療型短期入所受入体制拡充事業」が開始され、圏域での実施に向けて久御山南病院の医療型短期入所施設の視察や制度の学習会を行い、令和元年度に委員が圏域の5つの病院を訪問し、医療型短期入所の必要性や制度について説明を行いました。

### 3 今年度の取り組み状況

#### 第1回 令和2年7月9日（木）

- 1) 委員長、副委員長の選出について
- 2) 医療型短期入所の進め方について
- 3) 「医療的ケア」に関する広報について
- 4) 医療的ケアコーディネーター養成研修修了者アフターフォローについて

#### 第2回 令和2年9月24日（木）

- 1) 医療型短期入所に関する病院との打ち合わせについて
- 2) 医療的ケアコーディネーター養成研修修了者フォローアップについて
- 3) 喀痰吸引等研修について
- 4) 勉強会「重症心身障害児者等コーディネーターの役割」

花ノ木医療福祉センター重症心身障害児者等コーディネーター  
木村 美紀 氏

#### 第3回 令和2年11月26日（木）

- 1) 医療型短期入所に関する病院との打ち合わせについて
- 2) 医療的ケアコーディネーター養成研修修了者フォローアップについて
- 3) 喀痰吸引等研修について
- 4) 「医療的ケア」に関する広報について
- 5) 情報提供「薬剤師による在宅訪問」

第4回 令和3年3月18日(木)

- 1) 医療型短期入所に関する病院との打ち合わせについて
- 2) 医療的ケアコーディネーター養成研修修了者フォローアップについて
- 3) 喀痰吸引等研修について
- 4) 今年度のまとめと来年度の取り組みについて

#### 4 今年度の活動

##### (1) 人材育成について

医療的ケアを行うことができる人材養成のために、喀痰吸引等研修を登録研修機関である乙訓福祉会と連携し、研修委員や研修講師の派遣等の形で協力して実施しました。この研修の実施結果等は「喀痰吸引等研修プロジェクト」の活動報告に記載しています。

##### (2) 医療型短期入所の利用に向けた準備

平成30年度から京都府が「医療的ケア児者・重症心身障害児者短期入所受入体制拡充事業」を開始しました。これにより病院の短期入所施設へ馴染みの訪問看護師・ヘルパーを派遣することが可能となりましたが、遠方では継続的な派遣は困難なため、圏域の病院での実施の可能性を協議しました。

令和元年度に圏域の5つの病院を訪問し、医療型短期入所の必要性や制度を説明したところ、3病院が検討していただけることになりました。

令和2年度は3つの病院との実施に向けた意見交換会を、コロナ禍により遅れましたが12月に実施しました。福祉型短期入所や生活介護事業の見学を行った後の意見交換では「事前診断の必要性」「空床型でベッドが埋まったら」「ヘルパー派遣までの流れ」「支援中の事故の扱い」等多くの質問がありました。今後、病院から示された疑問に対して、他事業所でのこれまでの経験や事例等も示しながら、短期入所事業への理解を深めて戴けるよう丁寧な働きかけを継続して行く必要があります。

##### (3) 「医療的ケア」の実際を知ってもらうための活動について

医療的ケアが必要な方の実際の生活や医療的ケアとはどういったことなのかを知ってもらうことは、地域で暮らす障がい者への理解が深まることにもつながります。

多くの人に知ってもらうために、誰を対象に、どんな内容で取り組むのかを協議し、「民生委員や社会福祉協議会でのボランティア研修」に取り上げてもらうことや「地域のイベントへの出展・出講」「当事者・家族からの話」など様々な意見が出されました。残念ながら令和2年度はコロナの影響で、実施できませんでしたが、今後も具体的な取り組みを進めていきます。

#### (4) 医療的ケア児等コーディネーター研修のフォローアップについて

医療的ケアが必要な方の支援には保健・医療・福祉・保育・教育等関係機関の連携体制が必要とされ、「医療的ケア児等コーディネーター研修」は支援を総合的調整するコーディネーターを養成し、医療的ケア児等の生活を支援することを目的として平成30年度より開催されており、乙訓圏域の事業所や関係機関から16名が受講・修了しています。

しかし、修了者の職種や所属は様々で、現場ではどんな役割があるのか、どんな課題があるのかなど、それぞれの思いを聴き、意見交換等を行うことで修了者として期待される役割は何かを考えていくための交流の場が必要との意見がありました。このため、修了者を対象とした交流会の実施について計画し、事前に個々の役割や課題の把握をするためのアンケートを行いました。コロナ感染拡大の状況を踏まえ、今年度中の交流会は見送り、アンケートの取りまとめとフィードバックのみを行うこととしました。

### 5 次年度の課題と方針

#### (1) 人材育成について

医療的ケアを行うことができる人材養成のために、令和3年度も喀痰吸引等研修プロジェクトと連携・協力し、研修実施に向け取り組んでいきます。

#### (2) 個別ケースの課題の検討について

必要な制度の学習や実施状況を委員会で共有しながら、基幹相談支援センターや相談支援事業所等と連携し、個別ケースの課題解決に向けた検討を行います。また、課題を検討する中で政策提案等が必要となった場合は、本委員会にて具体的な検討を行います。

#### (3) 医療型短期入所の利用に向けた準備について

令和2年度に実施した病院との意見交換会により、医療型短期入所の開設

に向けていくつかの課題が提示されました。令和3年度は開設や利用に向けての課題を具体的に明らかにしたうえで協議を進めていきます。またコロナの影響に配慮しながら、病院と協力し、利用手順を含めた準備を進めていきます。

なお、病院の準備状況や開設後の利用状況については、可能な限り委員会に報告します。

#### (4) 医療的ケア児・者の実際を知ってもらうための活動について

「医療的ケア」を身近な問題と思ってもらうために、福祉関係団体に限らず様々な団体が開催するイベントで「医療的ケア」を取り上げてもらうよう働きかけを行います。その際には具体的な内容を検討したうえで、開催する団体への働きかけを行います。委員会では関心を持ってもらえる内容や方法について意見を聴いていきます。

#### (5) 医療的ケア児等コーディネーター研修のフォローアップについて

今年度実施したアンケート結果も踏まえ、医療的ケア児等コーディネーター研修修了者が気軽に相談し合える関係を構築し、支援に関わる職種との交流やその役割、課題等について意見交換ができる場を設けます。

#### (6) 医療的ケア児・者の生活を支えるために必要なことについて

医療的ケアを必要とする方の生活全般を考えるうえで、一定の制度は整備されつつありますが、まだ十分とは言えません。そのため、「あるものは利用しやすく、ないものはつくる」という視点から、何が求められているのかを原点に戻って協議することとします。